

学位被授与者氏名	渋谷 和弘（しぶや かずひろ）
論文題目	障害者支援施設におけるサービスの質の向上に必要な生活支援員の働き方に関する調査研究
論文審査結果の要旨	<p>本研究は重度知的障害者への支援を行う生活支援員が、今日まで長く仕事を続けることができている要因は何かを明らかにしようとする質的調査研究である。調査準備にしっかりと時間をかけ、12名へとインタビューをすることができた。インタビューの文量的にも十分な量であったと評価できる。</p> <p>ただし、以下の点において本論文は不十分であったと評価できる。</p> <p>① 研究上の問いが「長く仕事を続けられる理由は何か？」を明らかにしようとする研究であるはずが、執筆者の関心領域にまで拡大してしまっており、インタビューデータの分析に至るまで一貫性が乏しく、拡散傾向が終始見られた。</p> <p>② 先行研究に関する網羅性が乏しく、労働社会学や労働経済学なども参考にして考察を深めることも可能であったと考えられる。</p> <p>③ 結論の1つが「仕事が長く続く→重度知的障害者とコミュニケーションが取れるようになる→やりがいを感じる→仕事が続けられる」といった循環論となっており、そもそも「どうしてこのような好循環に入ることができるのか？」という肝心の問いへの答えを導くまでのより深い分析を行うことができていない。</p> <p>④ 論理的文章の展開に強引さがみられる箇所がいくつか見受けられた。貴重なデータを得ることができており、上記の点を改善することでより質の高い実証的研究論文へと到達することは十分可能であると考えられるため、今後の発展的研究に取り組まれることを大いに期待する。</p> <p>2024年2月21日に、北九州市立大学北方キャンパス本館B-305教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文を修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>